

受領 令和3年11月25日 8時40分

通告番号 (3) 1/2

令和3年11月25日

読谷村議会  
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員  
國吉雅和 印

## 一般質問通告書

第513回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

| 質問要旨  | 答弁を求める者 |
|---|---------|
| <p>1 石嶺村政3期目の推移(1年目と12年目)を求める。また、その推移を村づくりにどのように活かしていくか見解を求める。(金額は万円単位とする)</p> <p>(1) 人口・世帯数・年少人口・生産年齢人口・高齢者人口。</p> <p>(2) 一般会計予算額・国保特会予算額・後期高齢者医療特会予算額・水道事業会計予算額・下水道事業会計予算額。</p> <p>(3) 村民税額は個人分と法人分で、また、法人の等級別会社数・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・地方消費税交付金・施設等所在市町村調整交付金・地方交付税・国庫支出金・県支出金・財産収入・寄付金・特定目的資金積立基金合計額。</p> <p>(4) 財政力指数・自主財源比率・村税徴収率・経常収支比率・実質収支比率。</p> <p>(5) 村立保育所園児数・認可保育園児数・認可外保育園児数・放課後児童健全育成事業者数・放課後等児童デイサービス事業者数・介護保険事業者数・クリニック数。</p> <p>(6) 村内入域観光客数(1年目と10年目を求める)と観光宿泊施設数。</p> |         |
| <p>2 石嶺村政3期間で設置した主な7施設の名称・目的・財源内訳・事業効果を求める。</p>   |         |
| <p>3 約20年前安田村長2期目に副村長2人制を新聞記事で拝見し</p>   |         |

| 質 問 要 旨  | 答弁を求める者 |
|--|---------|
| <p>たとき、「これからの村づくりに必要な体制である。村民として支持します」との電話を差し上げました。さて、石嶺村長に現在の代理副村長(副村長不在)制度の見解を伺う。</p>  |         |
| <p>4 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 年齢別2回目ワクチン接種率を12～15歳・16～19歳・20～29歳・30～39歳・40～49歳・50～59歳・60～64歳・65歳以上で求める。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス3回目接種事業への取り組みと課題を求める。</p> <p>(3) 第5波で実施した村民への無料PCR検査を同規模の第6波でも求める。</p>  |         |
| <p>5 (仮称)読谷村総合情報センター及び周辺環境整備事業について</p> <p>本整備事業は、読谷村で初めてのPFI手法を導入する事業です。全員協議会で3回説明を受け、また、6月定例会一般質問で令和3年11月に事業者を決定した後、令和4年3月に事業契約との答弁を踏まえ質問します。</p> <p>(1) 公募型プロポーザル方式による優先交渉権者及び次点交渉権者の決定について、応募件数と交渉権者の優先者・次点者を求める。</p> <p>(2) 事業スケジュールからすると令和3年12月「基本協定の締結」ですが、これは令和4年3月議会上程予定の「事業契約の締結」に向けての基本的な取り決め事項の締結です。そこで、「基本協定の締結」の進捗状況と主な課題を求める。</p> <p>(3) 応募された民間収益事業の概要を求める。</p> |         |